

日建連表彰 2022 において第3回土木賞を受賞 阪神高速道路 12 号守口線床板更新工事

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）が設計協力をした「阪神高速 12 号守口線床板更新工事」が、一般社団法人日本建設業連合会主催の日建連表彰 2022 において、第3回土木賞を受賞いたしました。

「阪神高速 12 号守口線床板更新工事」は、床版更新に際して、予めハンチ部のコンクリートをウォータージェットで除去し、仮補強材に置き換えることで床版撤去および通行止め時間の大幅な短縮を図った新技術を用いた床版更新工事です。当社は、全橋 FEM を実施して、ハンチ部のコンクリートを除去した時の橋梁挙動の把握、施工中の橋梁の安全性の確認を行いました。

当社では、今後もインフラ整備・保全、防災、交通、地方創生を重点化事業として位置づけ、技術の高度化、総合化を推進し、社会価値創造企業の実現に向け、積極的に事業を進めて参ります。

日建連表彰土木賞とは

日建連では、1960 年より建築分野の BCS 賞の表彰が行われています。

2011 年に新・日建連の発足以降、土木・建築の両分野に活動の場が広がっていることから、活動領域を踏まえた新しい表彰制度が設けられました。

<https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/article/btIforcrMDWVrXLwcHdVrTc>

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551

FAX: 03-6311-8011

URL : <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・丸山・門司

日建連表彰 2022 第3回土木賞

- 工事名 : 阪神高速 12 号守口線床板更新工事
- 施工管理者 : 阪神高速道路
- 設計者・施工者 : 飛島建設、鹿島建設
- 関係者 : 第一カッター興業、オリエンタルコンサルタンツ、富士ピー・エス、デンカ、住友電気工業、丸栄コンクリート工業、ケイコン、カジマメカトロエンジニアリング、リテックエンジニアリング、橋梁技建

- 概要 : 橋梁の床版、主桁、横桁、スタッドジベルを含む全橋モデルを構築し、竣工時、その後の改築工事、床版取替中の様々な状態、完成供用後の状態を、全て FEM モデルで再現した。本工事の要となるスタッドジベルは全数をモデル化している。これにより、床版、主桁、スタッドジベルの状態を把握し、ウォータージェットで一度にコンクリートを除去できる範囲、コンクリート除去後に設置される仮補強材の必要個数、床版撤去中の橋梁の安全性を確認した。

- URL : <https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/article/btIforcrMDWVrXLwcHdVrTc>

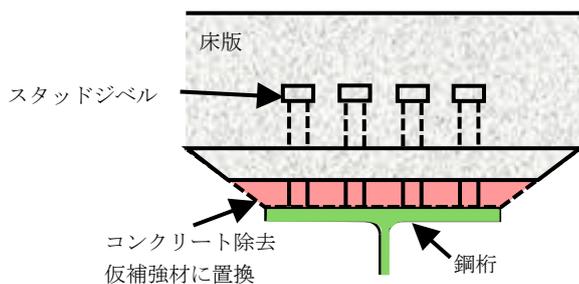


図-1 : コンクリートの除去範囲



写真-1 : ウォータージェットで除去したコンクリート

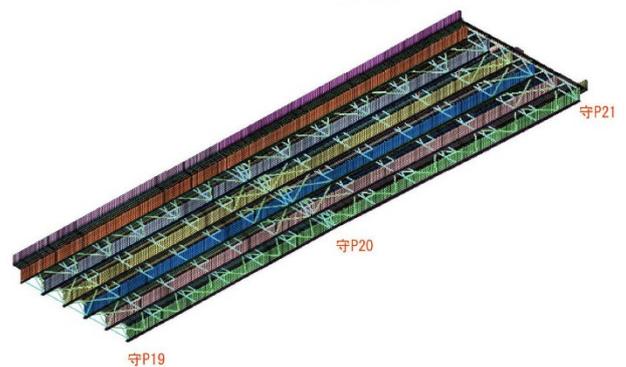
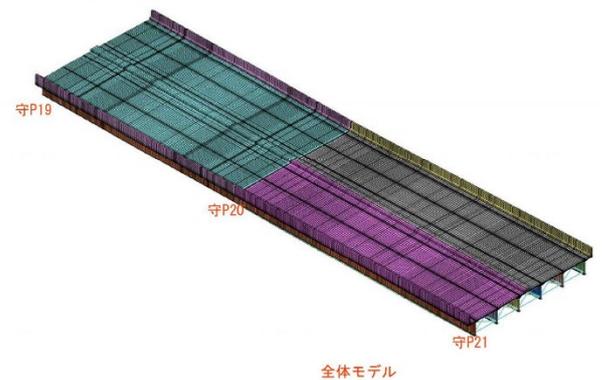


図-2 : FEM モデル (全橋モデル)